

# 蕨 5 広報WARABI

2018/平成30年  
わらび・808

- 平成30年5月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km<sup>2</sup>
- 4月1日現在人口：74,693人 前月比 +238人  
男 37,925人 女 36,768人  
世帯数：38,461  
人口密度：14,617人/km<sup>2</sup>



## 「ただいま!」「お帰りなさい」 子どもたちを見守る地域の力

塚越小学校周辺では下校時に児童の元気な「ただいま」の声が聞こえてきます。挨拶の相手は、地域のかたで構成され、今年で6年目を迎える「お帰り隊」の皆さん。「子どもたちの笑顔が生きがい」と語る皆さんは、その優しいまなざしで通学路の安全を見守っています。

～今月の特集～

- 第7期蕨市高齢者福祉計画  
・介護保険事業計画



市では今年3月に第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（期間は今年度から3年間）を策定しました。基本理念の「みんなにあたたかく健康で安心して暮らせるまちわらび」の実現に向けて施策を推進する本計画。今の特集はその主な内容を紹介します。まずは介護予防の取り組みについてです。

**高齢期を心豊かな生活に  
新計画で進める介護予防**

年齢を重ねても自分らしく充実した生活を送るためには、介護予防の取り組みが重要です。こうしたことを踏まえ、本計画においても、全ての高齢者が参加することができるよう、介護予防教室を実施するほか、地域に根ざした介護予防活動を推進するため、活動組織の育成や支援を図っていきます。

その一つがいきいき百歳体操教室の拡大です。住民主体で運営し現在18か所、計450人以上が参加しているこの教室。体操を通じて筋力や体力の向上につながっているほか、集いの場としても好評です。また、教室を支援する計143人のサポーター（平均年齢

# いきいきと介護予防

## 元気なうちから

特集 第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

### — サポーター・参加者の声 —

#### 運営通じ生活に張り

サポーターとして運営に携わり、私自身の生活にも張りが出ています。今後も仲間と協力して、地域の健康寿命の延伸につながるよう続けていきたいです。



かわた ひし  
河田 均さん  
塚越3丁目・67歳

#### 体操続け歩行が楽に

昨年6月から参加しています。体操のおかげで最近は歩行時のつまずきや転倒が減りました。教室の雰囲気もよく、皆さんと毎回楽しく過ごしています。



たなか  
田中 ヒコエさん  
塚越5丁目・81歳



早期の取り組みが  
健康寿命の延伸に

蕨田市医師会  
わたなべ けん  
渡辺 健 医師  
(日本整形外科学会専門医)

**皆** さん、「いつまでも元気でいきいきとした生活を送りたい」と、お考えではないでしょうか。しかし、日本人の平均寿命と健康寿命は男女とも10歳前後の差があり、その間は自立した生活が難しくなっています。

**健** 健康寿命を短くする要因の一つがロコモティブシンドローム(以下ロコモ)です。ロコモとは骨や関節、筋肉の働きが衰え、日常生活に支障を来す状態で、進行すると要介護にな

**足** 腰の筋力があると、外出や交流の機会が増え、生活の「楽しみ」が得られるとともに、認知症の予防にもなります。今は不安がなくても高齢期には心身機能が徐々に低下するので、早期の取り組みをお勧めします。

ったりそのリスクが高くなったりします。一般的に骨や筋肉などは40歳頃から衰え始めますが、体を動かして適度な負荷を与え、栄養をとることで幾つになっても鍛えることが可能です。

— ご参加ください！介護予防教室 —

対象 = 市内在住の65歳以上の人 無料 申し込み = 下表

下表のほか、介護予防に関する相談は錦町・北町・中央在住の人は第一地域包括支援センター(☎434・6721)・南町・塚越在住の人は第二地域包括支援センター(☎290・8587)へ

教室	とき	ところ	定員	申し込み
脳はつらつ教室 (認知症予防)	6月4日～7月30日 月曜日 午後1時半 全8回	ルネサンス 蔵	25人	7日～11日に 第一地域包括支援 センター (☎434・6721)
	11月6日～12月25日 火曜日の午後 全8回	中央公民館	25人	10月9日～15日に 第一地域包括支援 センター (☎434・6721)
脳活教室 (認知症予防)	9月13日～来年2月7日 木曜日の午前 全22回	いきいき タウン蔵	20人	8月6日～13日に 第二地域包括支援 センター (☎290・8587)
バランス アップ教室	6月7日～8月30日 木曜日 午前10時半 全12回	いきいき タウン蔵	20人	7日～11日に 第二地域包括支援 センター (☎290・8587)
	来年1月8日～3月26日 火曜日の午前 全12回	総合社会福祉 センター	20人	12月5日～12日に 第一地域包括支援 センター (☎434・6721)
お口いきいき 教室	来年1月9日～3月12日 水曜日の午後 全8回 (うち火曜日に2回)	東公民館	25人	12月5日～19日に 介護保険室 (☎433・7756)



▲塚越5丁目町会有志によって運営されている、いきいき百歳体操教室。昨年の6月から町会会館を会場にスタートしました。サポーター9人の進行の下、和やかな雰囲気の中、毎回20人程度の参加者が心地よい汗を流しています(4月12日・19日)

このほか、65歳以上であればどなたでも参加できる運動器機能向上や口腔機能向上、認知症予防に関する教室(左表)を開催します。介護予防に積極的に取り組むことで健康寿命(※)が延伸し、自分自身やご家族の幸せにもつながります。ぜひご参加ください。

69歳)にとって、やりがいを持ってける場となっており、市では今後も養成講座を開催するなど取り組みを進めていきます。

**各種教室で高齢者を支援 積極的にいきいき健康維持を**

— 継続で効果あり！いきいき百歳体操 —



おもり入りのバンドを腕や足につけ、6種類の運動を行うことで、足腰や肩の筋肉を鍛える介護予防体操。市では平成27年度から開始し、参加者の体力測定の結果では一定の効果が出ています。

# 安心して暮らせるまちへ 取り組みを推進

4期では、第7期計画で進める主な取り組みのほか、段階別の保険料などを紹介します。



高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちへ

## 超高齢社会を見据え構築 「地域包括ケアシステム」

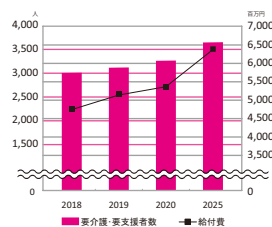
団塊世代が75歳を迎える2025年を控え、本計画では医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの深化を図るため、取り組みを進めていきます(右下囲み)。また、保険料(下表)は高齢者の増加に伴う給付費の伸びを見込んで改定しましたが、第6期終了時点での介護保険給付費準備基金残高を繰り入れ、負担の軽減に努めています。市では、今後も安定的に介護保険制度を運営していくとともに、地域ぐるみで高齢者の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

保険料段階	対象者	保険料額(年額)	保険料(月額)
1	生活保護の受給者、老齢福祉年金の受給者で世帯全員が住民税非課税、または、世帯全員が住民税非課税で前年の「合計所得金額+課税年金収入額」が80万円以下	30,321	2,527
2	世帯全員が住民税非課税で前年の「合計所得金額+課税年金収入額」が80万超120万円以下	43,797	3,650
3	世帯全員が住民税非課税で前年の「合計所得金額+課税年金収入額」が120万超	50,535	4,211
4	世帯員のいずれかが住民税課税で本人が住民税非課税、かつ、前年の「合計所得金額+課税年金収入額」が80万円以下	57,273	4,773
5(基準額)	世帯員のいずれかが住民税課税で本人が住民税非課税、かつ、前年の「合計所得金額+課税年金収入額」が80万超	67,380	5,615
6	本人が住民税課税で前年の合計所得金額120万円未満	80,856	6,738
7	本人が住民税課税で前年の合計所得金額120万円以上200万円未満	87,594	7,300
8	本人が住民税課税で前年の合計所得金額200万円以上300万円未満	101,070	8,423
9	本人が住民税課税で前年の合計所得金額300万円以上350万円未満	114,546	9,546
10	本人が住民税課税で前年の合計所得金額350万円以上400万円未満	121,284	10,107
11	本人が住民税課税で前年の合計所得金額400万円以上550万円未満	128,022	10,669
12	本人が住民税課税で前年の合計所得金額550万円以上700万円未満	134,760	11,230
13	本人が住民税課税で前年の合計所得金額700万円以上900万円未満	141,498	11,792
14	本人が住民税課税で前年の合計所得金額900万円以上	148,236	12,353

### ◀保険料段階表

所得に配慮した設定とするため第6期計画と同様の14段階としました。第1号被保険者の保険料基準額(第5段階)は月額5,615円となります。詳細=介護保険室(☎433・7835)

要介護・要支援者数と給付費の見込み



計画では上記のように要介護・要支援者数の増加とともに給付費の伸びも見込んでいます。

### 計画の主な取り組み

**認知症施策**：認知症専門医及び医療・介護の専門職からなる認知症初期集中支援チームを配置し、初期の支援を包括的、集中的に行うことで早期診断・対応に向けた支援体制を構築します。

**在宅医療・介護連携推進事業**：在宅医療と介護の連携の中心となる拠点(蕨市市在宅医療支援センター)を中央4丁目に設置するなど、地域の関係機関の連携体制の構築を図ります。

**自立支援型地域ケア会議**：医療・介護等の専門職をアドバイザーに招き、地域包括支援センター・ケアマネジャー・介護サービス事業所における高齢者ケアの向上を図る会議を開催します。



第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の内容は、市ホームページで御覧いただけます

## 情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

〔仲間になりませんか〕

▼オカリーナわらび(オカリナ) 月4回火曜日 午前9時

▼社交ダンス アドバンス&スピリット 金曜日 午後7時

▼福祉・児童センター1 月4日

▼蕨北町サッカー 土・日曜日

▼和楽備ストレッツ・脳トレ&ラジオ体操の会 月・水・金曜日 午前6時15分

▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後1時

▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半

▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時

▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内

▼浦島 224・5915

▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時

▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内

▼浦島 224・5915

▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時

▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内

▼浦島 224・5915

▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時

▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内

▼浦島 224・5915

▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時

▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内

▼浦島 224・5915

～不幸な命を増やさないために～  
飼い主のいない猫の  
不妊・去勢手術費補助制度新設



飼い主のいない猫の繁殖を抑制し、地域の公衆衛生の向上と良好な生活環境の促進を図るTNR活動（下囲み）。市ではこの活動の推進のため、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を受けさせた人に補助金を交付する制度を新設しました。不幸な命が増えることや糞尿被害を防止するため、TNR活動にご協力をお願いします。

**TNR活動とは**

飼い主のいない猫を捕獲(Trap)して、動物病院で不妊または去勢手術(Neuter)と手術済みの目印である耳先カットを行い、元へいた場所に戻す(Return)ことで、一代限りの命を地域で見守る活動を行います。



▶耳先をカットされた猫

**制度の概要**

**対象者** = 市内在住で飼い主のいない猫に不妊・去勢手術と耳先カット手術を受けさせた人  
**補助額** = 手術に要した費用で、1頭当たり上限5,000円(性別問いません)  
**申し込み・詳細** = 安全安心推進課生活環境係(☎443・3706)

**申請の流れ**

- ①交付申請（必ず手術前に行うこと）
- ▼
- ②交付決定通知を受けてから手術を実施
- ▼
- ③手術後期日までに必要書類を提出

※制度の詳しい内容は、市ホームページをご参照ください(右QRコード)



ま  
ち  
の  
話  
題

3月31日と4月1日、第20回目となる「蕨市民公園桜まつり」が開催されました。東中学校吹奏楽部の演奏や輪踊りなどのほか、地域の皆さんによる模擬店の出店もあり、訪れた延べ6000人は、80本以上の桜の下で交流を深めながら春の楽しいひとときを満喫しました。

春を楽しむ「桜まつり」



4月4日と5日、「こども将棋教室」が中央、東の両公民館で開催されました。アウトメディアの一角で行われ、80人の児童たちは、蕨市PR大使で女流棋士の中井広恵さんや植山悦行七段からの指導で、熱心に駒を動かしていました。来月はいよいよ小学生将棋大会です。

プロに教わる将棋教室



春の全国交通安全運動（4月6日～15日）に合わせて、出発式が4月6日、イトーヨーカドー錦町店で行われました。式典後、交通関係団体や蕨高校バトン部など200人は啓発品を手に、子どもと高齢者の歩行中の交通事故防止や自転車の安全利用などを呼びかけました。

春の交通安全運動実施



市民の皆さんと市長が直接語り合う、「市長タウンミーティング」を4月14日から22日までの間、各地区の公民館で開催しました。頼高市長による新年度予算や施策の説明などのほか、質疑応答が行われ、市政に関する貴重なご意見をいただきました。参加者計526人。

タウンミーティング開催



子どもたちに読書の楽しさを知ってもらおうと、4月21日、図書館で子ども読書の日イベント「本だいきき!!」が開かれました。蕨てんとうむしの会の皆さんが今年の干支の戌を題材に読み聞かせを行い、訪れた15人は熱心に耳を傾けながら物語の世界に浸っていました。

イベントで本に興味を



- ▼蕨塚越サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 東小か塚越小 月2500円 年中～小学生入武藤 ☎080・50663・6222
- ▼参加しませんか
- ▼カノン・若葉ダンスパーティー 練習会 7日 午前9時半 499円 パーティー 22日・26日 午後1時 各600円 くるる 坂内 ☎443・8968
- ▼「熊谷・星溪園」参加者説明会 日時等は電話確認 8日 帰り 旅倶楽部・岩本 ☎090・3431・4295
- ▼蕨フィルハーモニックウイーンズ第27回定期演奏会(吹奏楽) 27日 午後5時 市民会館 無料 八川辺 ☎090・3902・2200
- ▼川口ウィンドアンサンブル第32回定期演奏会 20日 午後1時半 市民会館 無料 八横川 ☎296・9619
- ▼SKDダンスパーティー 9日・17日・24日 午後1時 くるる 499円 八犬塚 ☎080・5183・8342
- ▼江戸あるき「戸越銀座商店街と武蔵小山商店街、その界限を歩く」5日・10日 午前9時 蕨駅改札前 700円 八富山 ☎090・2764・1342
- ▼相談ください
- ▼蕨断酒会(酒害相談) 1日 中央公民館 11日 南公民館 17日 旭町公民館 午後7時 語り合いの場 八高橋 ☎090・2302・8510

# きめ細かい相談体制へ 今年度新たに配置 保育・子育てコンシェルジュ

保育園等の利用に関する相談や子育て支援事業に関する情報提供を行う保育・子育てコンシェルジュ。きめ細かい相談体制の充実に向け、今年度から市役所2階の児童福祉課に配置しています。今月はこのコンシェルジュの業務について紹介します。



「お気軽にどうぞ」と、保育・子育てコンシェルジュ

## 親と子の ニュースの 小窓

### 市役所2階の児童福祉課に新たに配置

**ワラビ** あ、A子さん、こんにちは。わあ、赤ちゃんだ。かわいい！  
**A子さん** こんにちは。もうすぐ、3か月なのよ。  
**お母さん** 今日はどちらへお出かけですか？  
**A子さん** 市役所に保育園や子育ての情報などを聞きに行くところです。  
**お母さん** そういえば先月から「保育・子育てコンシェルジュ（以下コンシェルジュ）」がいるそうね。  
**ワラビ** どんな人なの？  
**お母さん** お母さんも詳しく知りたいわ。A子さん、私たちもいっしょに行っていいかしら？  
**A子さん** もちろんです。

### 一人ひとりに寄り添いきめ細かく対応

コンシェルジュ こんにちは。こちらは保育園の入園申し込みのご相談や子育て支援事業に関する情報提供を行っています。  
**A子さん** 今、育休中で、子どもが1歳になったら職場復帰したいので保育園について知りたいです。  
コンシェルジュ お住まいの場所や勤務状況、通勤時間などを詳しくお聞きした上で、ご希望に沿った保育園や支援サービスについてお伝えします。  
**お母さん** きめ細やかに相談ののってくれるのね。  
**A子さん** 子どもと遊びに行けるイベントも教え  
てもらえますか。近所に知り合いが少ないからママ友も作りたいんです。  
**お母さん** ママ友がいるとなにかと心強いわよね。  
コンシェルジュ 児童館や公民館、地域子育て支援センターなどで開催されている親子向けの事業をご紹介します。  
**ワラビ** いろいろ教えてくれるんだね！  
コンシェルジュ その他、子育てについて悩みごとがあれば家庭児童相談室や保健センターなど、内容に応じて適切な機関をご案内します。まずはお気軽にお越しください。



市ではこれからも更なる子育て環境の充実を進めていきます（写真はくるみ保育園）

#### 保育・子育て コンシェルジュの概要

業務 = 保育施設や子育て支援事業についての相談・情報提供  
相談日時 = 月～金曜日  
午前9時～午後5時  
(正午～午後1時を除く)  
相談場所 = 市役所2階児童福祉課  
相談方法 = 来庁相談または電話相談  
詳細 = 同課保育係 ☎433・7758

※子育てに関する蔵市の制度や事業、役立つ情報については「わらび子育てほっと情報」も併せて御覧ください。右QRコードからご確認できます



# ほっと・エッセイ 107

夜間でもAEDが使える  
街なかAEDステーション

市長 頼高英雄



以前、市役所に来られた方が急に倒れ、AEDで一命を取り留めるといふ出来事があったことを「ほっとエッセイ」で紹介したことがあります。このように、突然の心臓停止の時に、電気ショックにより心臓を動かすAEDは、市民の皆さんの命を守る上で大変重要なものです。

現在、蕨市では、公民館や学校などの公共施設にAEDを設置してありますが、夜間など施設が閉まっている間は、使うことができません。そこで、市内の24時間営業のコンビニエンスストアやガソリンスタンドのご協力で、それらの店舗に市でAEDを設置し、市民の皆さんが夜間も含めて自由に使える街なかAEDステーション事業を実施することとなりました。

AEDは、音声の指示に従えば、誰でも使えるものですが、いざという時のために、消防署において、月2回、普通救命講習を開催しているほか、団体などを対象に出前講座も行っています。また、小学校5年生を対象とした講習も実施しています。これからもAEDの普及、啓発に取り組んでいきたいと思っております。

## 市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は10日です。6月は7日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へご連絡を。

## 紹介します！皆さんの市民活動

# キラリ!! みんなの力

～ フルートクラブ・ラルジュ ～



初心者から経験者まで、フルートが好きならどなたでも大歓迎です。詳しくは永松(☎447・0515)まで

「とても活発で笑顔の絶えない優月は、9歳年上の姉・日和が大好きです。いつもいっしょについて回り、姉をお手本に新しいことに挑戦していきます。最近では自分でお着替えし、食器の後片づけなどのお手伝いもしてく



ゆづき 優月ちゃん  
(1歳11か月)

はま ただみつ 忠実さん  
あきえ 昭江さんの  
二女  
南町3丁目

# わが家のアイドル

-553-

## メッセージ



ながまつ たかゆき 永松 孝幸 代表

フルートクラブ・ラルジュは、東公民館の初心者向けフルート教室の受講生が集まり、平成18年に創立しました。活動は、毎週火曜日の午後7時から東公民館でアンサンブルの練習をしています。ほかにも、月2回、土・日曜日に講師の村松(むらまつ)ほ先生に指導してもらえますので、初心者のかたも安心です。私



演奏会に向けて練習する皆さん

もフルートを吹くのは初めてでしたが、一から丁寧に教えてもらい、仲間と練習を重ね、これまでクラシックやポピュラー、アニメなど、100曲以上も演奏してきました。クラブ名の「ラルジュ」には「緩やかに」という意味があります。その名前のとおり、肩肘を張らずに、会員どうし和気あいあいとした雰囲気なかで、フルートの音色を楽しみながら、演奏の上達を目指しています。

毎年、塚越地区生涯学習フェスティバルなどで日頃の成果を発表していますが、今年は6月開催の市民活動見本市に初めて参加します。今は当日に向けて練習に励んでいます。興味のあるかたはぜひ聴きにきてください。



コンテストでは多彩な音色を奏でた菅谷さん

輝いています

JBA埼玉県部会中学生管打楽器ソロコンテスト県知事賞

# ひと

すが や ゆう き  
菅谷 優希 さん

## 情熱を胸に更なる高みへ

2月10日に行われた「JBA埼玉県部会中学生管打楽器ソロコンテスト」事前審査を経て本選に駒を進めた46人の中の一人、第二中学校3年生の菅谷優希さん（14歳・中央3丁目）は、トロンボーンの演奏で、みごと、埼玉県知事賞に輝きました。楽曲への深い理解からくる中学生離れした表現力や演奏の技術力に、審査員全員が唯一、満点評価をしたの結果です。菅谷さんがトロンボーンに触れたのは、吹奏楽部に入部してからです。スライド管を前後に移動させて正確な音程を出すことや、吹き方の強弱による音色の出し方など、トロンボーンは数ある楽器の中

でも難易度が高く、幼稚園の頃からピアノで音楽に慣れ親しんでいた菅谷さんでも、「最初は、思いどおりの音が出ませんでした」と話します。そんな苦労も忘れるほど衝撃的だったのが、プロの生演奏を聴いたこと。トロンボーンを持つ幅広い音色と豊かな表現に魅了され、それ以来、より高みを目指して部活動はもろろん、自宅でも夢中になって練習を続けてきました。「ソロコンテストでは今の自分が出せる最高の演奏ができました」と、菅谷さん。続く関東大会では、コンディションが万全でなく、惜しくも賞は獲得できませんでしたが、「次回は全国最優秀賞を目指したい」と、大きな目標に向けて気持ちを新たにしています。部活動での後輩への指導は「熱心に分かりやすく教えてくれるので頼もしい」と、評判です。そんな菅谷さんにとって、みんなで一つの音楽を作り出す吹奏楽は、「ソロの演奏にも負けないくらい大好き」と、にっこり。中学校生活最後の年に悔いを残さないためにも、音楽への情熱を絶やさず、日々の練習をたいせつにしながら、思い描く「最高の音」に一步一步近づけていきます。

### 今月の河鍋暁斎記念美術館

## 天才絵師の作品 蕨にあり

— No.24 —



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい  
河鍋 暁斎  
天保2年(1831)  
～明治22年(1889)

大きな鯉こいの下を、鍾馗しゆきが胃い人形にんぎょうを持った鬼を連れて歩いて行きます。風におおられて大きくうねる鯉こいは勢いのある筆遣いで一気呵成いっせいかせいに描かれています。この絵は『広報蕨』3月号で紹介した「月次風俗図」シリーズの5月を描いた一幅です。全12幅は全て即興で描いた「席画」で、各月にふさわしい行事や風俗が、素早い筆さばきと淡い色合いで描かれています。5月は鍾馗自身が端午の節句の準備をするユーモラスな姿が描かれており、暁斎ならではの機知に富んだ作品に仕上がっています。

河鍋暁斎記念美術館 5月1日(火)～6月25日(月)  
「暁斎・暁翠が見た明治維新150年」展 同時開催  
「河鍋楠美コレクション 寄贈作品による現代作家」展

開館 午前10時～午後4時  
休館 木曜日  
毎月26日～末日  
ところ 南町4-36-4  
入館料 一般600円  
中学生～大学生500円  
小学生以下300円  
(20人以上の団体は要予約)  
詳細 同館 ☎441-9780



暁斎筆  
「月次風俗図 五月 鍾馗と鯉」  
明治7年(1874) 紙本淡彩

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます